

# 専修大学

# 図書館だより

第62号  
2007. 7



『源氏系図』（源氏物語古系図）伝藤原家隆筆 鎌倉時代写本 一軸（蜂須賀家旧蔵本）

## 目次

「非日常的風景」としての図書館、 「知の集積場」としての図書館（佐藤 恭三）	2
シリーズ ムーサの神殿 資料紹介 カストリ雑誌の時代（櫻庭 太一）	3
展示紹介 専修大学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」について（石黒 吉次郎）	4
平成18年度図書館統計	6
データベース紹介 新しいデータベースをcheck it out! 「eol ESPer」「HeinOnline」	7
図書館インフォメーション	8

## 専修大学創立130年記念

フランス革命期史料特別展・公開シンポジウム開催！

図書館所蔵のミシェル・ベルンシュタイン文庫を中心  
に、フランス革命期史料の展示を行います。  
10月25日(木)には公開シンポジウムを開催し  
ます。

### 特別展示

平成19年10月25日(木)～30日(火)  
紀伊國屋書店 新宿本店 4階  
紀伊國屋画廊

### 公開シンポジウム

平成19年10月25日(木)  
紀伊國屋書店 新宿南館 7階  
サザンシアター

# 「非日常的風景」としての図書館、 「知の集積場」としての図書館

佐藤 恭三

個人的な体験をお話しします。アメリカがベトナム戦争のくびきを未だ脱せず<sup>いまだ</sup>にいた1972年の初秋、隣国カナダのトロント空港から、大いなる不安に身を震わせ、大いなる野望に身を焦がしながら、一路ロンドンのヒースロウ空港に向けて飛び立ちました。トロントの南西50マイルのオンタリオ湖に面する港湾都市ハミルトンにあるマックマスター大学政治学専攻修士課程を終えた僕が、イギリス・ケンブリッジ大学の歴史学専攻博士課程の学徒として受け入れられたからです。

ヒースロウ着陸後、Tube（地下鉄）に乗り換え、さらに列車でロンドン中心部のキングス・クロス駅からケンブリッジへ。広軌の列車はその安定性ゆえに速い。車窓に広がるなだらかな丘陵で草を食む羊や牛にひとしきり見入るまもなく、小1時間で目的の地に到着。両手に余る重い荷物もものかは、先ず最初にやるべきことは、事前の計画に沿って、これからの数年間お世話にならざるを得ない、世界最大級の蔵書数を誇る「知の宝庫」ケンブリッジ大学図書館にタクシーを飛ばすことでした。そして、そこで目にした歴史の重みと、畏敬の念すら覚えさせるその外観の重厚な風格と威容に圧倒されました。

そうなのです。図書館たるもの、その外観が先ず大切なのです。人をして、「勉学」、「研究」、「調査」という非日常的行為へと誘って<sup>いざな</sup>くれそうな内的刺激を喚起させることが、図書館の重要な役割の一つだからです。簡単に言ってしまうと、その気にさせちゃう「効能」です。



ケンブリッジ大学図書館

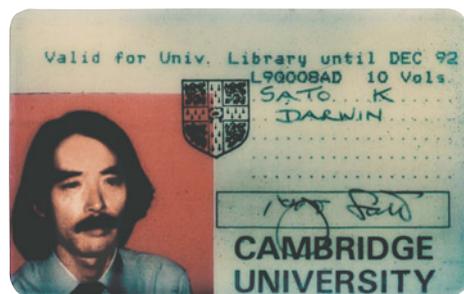
つまり、その外観が自律神経系の交感神経を刺激して、ある種の緊張・興奮状態を惹起させるというわけです。

侮ることなかれ。外観を含めた非日常的な風景が「研究」や「勉学」という非日常的行為にとっていかに心強い味方であるかを、皆さんも一度や二度は経験したことがあるはずです。心理学でこの「効能」を何と名づけているのか知りませんが、人間には誰もそうした性向が備わっていることは確かです。

そして、言うまでもなく、図書館は「知の集積場」です。総合図書館であれば、そこにはありとあらゆるジャンルの、しかも膨大な書籍や資料や雑誌が、「私に用でもあるのかね？」とでも言いたげに、書架に偉そうに鎮座まします。いや、実際、彼らの方が偉いのです。なにせ、彼ら一つ一つが「知」の源泉なのですから。今や、書き手の思惑や思い入れを超えた人間全体の共有財産に「昇格」した存在なのですから。僕ら利用者は「知」が提供してくれるものをありがたく — 時に反発を覚えながらも — 接受する存在なのですから。

そんな気持ちがあつてのことなのですが、僕の場合、目当ての本や資料と初めて対面する時に、決まってするおまじないがあります。目をつぶり、心の中で「よろしくお願ひ致します」と呟くのです。霊験あらたかかどうかはどうでも良いのです。「知」に対して謙虚でありたいと思っているだけなのですから。

（さとう きょうぞう：法学部教授）



ケンブリッジ大学図書館の入館証

ムーサの神殿:

ムーサ(ミューズ)とは、ギリシャ神話で学問や芸術などあらゆる知的活動を司る9人の女神たちのことです。「ムーサの神殿(ムーセイオン)」は、美術館、博物館、図書館を表しており、ミュージアムの語源となっています。

古代エジプトの首都アレクサンドリアにつくられた総合学術機関「ムーセイオン」は、これに由来しており、その付属図書館が世界最古の図書館といわれています。

# カストリ雑誌の時代

櫻庭 太一

カストリ雑誌の定義はその視点により様々ですが、1946年1月に発行された『りべらる』、また同年10月の『猟奇』、この2誌に挟まれた時期を出発点に、およそ1950年以前までに出版された、安価な紙に扇情的な表紙、エログロやゴシップなど「低俗」な記事を主とした雑誌群をそう呼ぶことが多いようです。『りべらる』は中間雑誌として好評を博し、『猟奇』は第2号掲載の小説『H大佐夫人』が戦後初の発禁処分を受けるなど当時の人々に大きな衝撃を与えました。

終戦直後の出版界では、冒頭で挙げた2誌を皮切りに、『うきよ』『アベック』あるいは『動く小説と実話』など、膨大な数のカストリ雑誌が生み出されていきました。敗戦で紙も印刷手段も、書き手の調達もままならないという混沌とした状況が、カストリ雑誌の作り手たちにとってはむしろ恰好の活躍の場となったのでしょうか。昭和21年から23年にかけて、すなわちカストリ雑誌市場がもっとも活況を呈した時期のものを手に取ってみると、猟奇事件のルポ、政界・芸能界のゴシップ、世界の性風俗紹介、ポルノ小説、遊郭街のレポートなど、戦前の統制時代からみればまさに「やりたい放題」の見出し、内容が並んでいます。



『りべらる』1巻1号  
1946年1月



『綺談』1巻1号  
1948年6月

今回、本学図書館に所蔵されたカストリ雑誌(230誌)は、そうした「黄金期」のものを中心としていますが、その価値は単に「エログロ」な部分にのみあるわけではありません。そこには、ほんの二、三年前は「敵」であったアメリカの“文化的生活”を礼賛する記事が、「男女交際における手のつなぎ方」について各界の識者が意見を寄せる特集が、あるいは坂口安吾、山田風太郎ら我々にもなじみ深い作家達の小説が、まさに復興と価値観の激変、そして発展のただ中にある戦後の移ろいがリアルに記録されています。当時の状況でまず最初に求められ、活況を呈した出版物がカストリ雑誌であったという事実、敗戦という衝撃を経てなお健在であった当時の人々のバイタリティ、そして率直な人間味を見ることができるといえるのです。ぜひ図書館に来て、現物のカストリ雑誌を読んでみてください。きっと教科書やネット上の情報とは違う「もう一つの戦後」に触れることができるでしょう。

(さくらばたいち：日本語日本文学研究科 博士後期課程)



『アベック』1号  
1948年6月



『怪奇雑誌』2号  
1948年11月

特別展 「蜂須賀家の名宝と大名美術の世界」

本年七月二十日（金）から八月二十六日（日）まで、徳島市立徳島城博物館で、開館十五周年記念特別展「蜂須賀家の名宝と大名美術の世界」が開催されます。この特別展は散逸した蜂須賀家の名宝を一堂に展観、近代に花開いた大名美術の世界を甲冑と刀剣・文学・絵画・茶の湯など様々な分野から見ようとします。

本学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」二十一種（百二十九冊）はこの特別展に出品されます。また、今回ご執筆いただいた石黒吉次郎教授が育友会徳島支部懇談会の開催日（八月五日（日））に合わせて行われる文化講演会において、「蜂須賀家旧蔵本」について講演します。

さて専修大学が所蔵する蜂須賀家旧蔵本は下段に記載した二十一種である。ご覧のようにこれら二十一種は、和歌と物語の二分野から成るもので、古典の中でも人気のある代表的な作品が中心となっている。また著名人の筆になるものが多い。これらのうち、貴重なものは藤原俊成の家集『長秋詠藻』で、重要文化財に指定されている。また類題集の『和歌題林抄』も注目されるもので、これを利用して論文も書かれている。このうち専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊として刊行されているものは、一・六・七・九・十・十一・十三・十六・十七・十八の十種である。なお『和歌題林抄』は中田武司氏（元文学部教授・元図書館長）等が専修大学出版局から翻刻版として出版されており、便利である。

（いしぐろきちじろう・文学部教授）



長秋詠草 一帖 二条為世筆  
永仁四年（1296）写



和漢朗詠集 二帖 上帖高辻長成筆  
建長三年（1251）写

- 十四 伊勢物語 一帖 伝姉小路濟繼筆 室町時代写
- 十五 伊勢物語 一帖 江戸時代写
- 十六 源氏物語（空蟬巻） 一軸 今川了俊筆 応永十七年（一四一〇）写
- 十七 源氏物語のおこり 一帖 伝豊臣秀吉・慶福院筆 天正十五年（一五八七）・文禄二年（一五九三）写
- 十八 源氏系図（源氏物語古系図） 一軸 伝藤原家隆筆 鎌倉時代写
- 十九 一葉抄（藤袴巻） 一軸 伝細川幽斎筆 室町時代写
- 二十 岷江入楚 五十五冊 江戸時代写
- 二十一 保元物語・平治物語 六帖 江戸時代写

# 専修大学図書館所蔵「蜂須賀家旧蔵本」について

石黒吉次郎

蜂須賀氏は尾張国海部郡蜂須賀を領した土豪であったが、正勝・家政父子が豊臣秀吉に仕えて軍功をあげ、天正十三年（一五八五）阿波国（徳島県）を与えられた。その後江戸時代を通して阿波国の大名として続いた。二十五万七千石であった。明治維新に際しても功があり、新政府では侯爵となっている。

その蜂須賀家は他の近世大名の多くがそうであったように、和漢の古典籍の収集を行ない、公家階級と同様に伝統文化の担い手となった。蜂須賀家の文庫は阿波国文庫と呼ばれ、質量ともに優れたものであった。寛政三博士の一人であった儒者柴野栗山（一七三六～一八〇七）や江戸の国学者屋代弘賢（一七五八～一八四二）の所蔵した書籍が没後に寄贈されたため、阿波国文庫はさらに充実していった。ことに屋代弘賢の不忍文庫は有名で、蜂須賀家旧蔵の書籍には、阿波国文庫の印のほか不忍文庫の印もよく見かけられることがある。この阿波国文庫は明治維新に際して家臣に分与されたり、太平洋戦争後に売却されたりして、現在はまとまったコレクションにはなっていない。その所蔵所として知られているのは、専修大学図書館と徳島県立図書館である。このほか国立国会図書館等にも見受けられる。これまで蜂須賀家旧蔵本のうち、『紫式部日記絵巻』（蜂須賀家本、日本古典文学会編、ほるぷ出版）、『中世末刊和歌文学資料集成』（佐藤高明編、勉誠出版）等が刊行されている。後者には『六条修理大夫頭季集』、『耕雲口伝』、『後京極殿自歌合』、『三体和歌』が阿波国文庫旧蔵として収められている。このようにこの文庫では、日本の古典文学においては中世の和歌関係の資料に重要なものが多い。



## 専修大学が所蔵する蜂須賀家旧蔵本（二十一種）

- 一 古今和歌集 二帖 二条為氏等筆 文永三年（一二二六）  
（江戸時代初期写）
- 二 古今和歌集 一帖 東素珊筆 文龜三年（一五〇三）写
- 三 古今和歌集 二帖 江戸時代写
- 四 二十一代集 四十六帖 江戸時代写
- 五 新統古今和歌集（断簡） 一軸 伝堯孝筆 室町時代写
- 六 和歌題林抄 伝兼好筆 鎌倉時代写
- 七 三十六人和歌 一軸 伏見宮貞敦親王筆 室町時代写
- 八 左大将家百首調合 一帖 蜷川親元筆 室町時代写
- 九 惠慶集（春之部） 一帖 小堀遠州筆 江戸時代写
- 十 長秋詠藻 一帖 二条為世筆 永仁四年（一二九六）写
- 十一 和漢朗詠集 二帖 上帖高辻長成筆 建長三年（一二五二）写
- 十二 和漢朗詠集 二帖 伝光嚴院筆 室町時代写
- 十三 伊勢物語 一帖 二条為氏筆 鎌倉時代写

# 平成18年度 図書館統計

## 図書館利用状況

区分	本館	生田分館	神田分館	神田分館 7号館分室	法科大学院分館	合計	
開館日数	275	264	275	264	296	—	
入館者数	366,723	216,532	174,677	1,255	35,855	795,042	
文献複写枚数	582,209	18,080	283,084	4,873	102,756	991,002	
貸出冊数	学部学生(二部学生)	49,239 (200)	35,941 (58)	15,486 (3,817)		145 (20)	100,811 (4,095)
	大学院生	6,459	775	2,226		67	9,527
	法科大学院生	14	99	1,660		4,123	5,896
	教職員	6,991	2,295	2,187		292	11,765
	その他	8,300	4,330	3,939		759	17,328
	合計	71,003	43,440	25,498		5,386	145,327

※( )は内数で二部学生

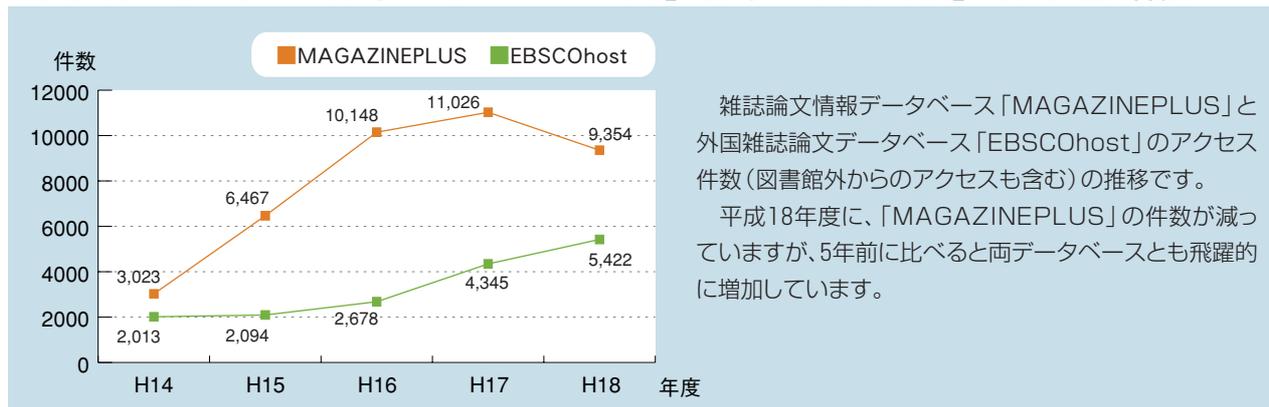
## 蔵書数

平成19年3月31日現在

	本館	生田分館	神田分館・神田分館7号館分室	法科大学院分館	合計
和書	632,522 (17,460)	53,721 (4,298)	254,622 (5,578)	11,675 (1,377)	952,540 (28,713)
洋書	420,796 (6,139)	321 (16)	163,498 (2,177)	773 (66)	585,388 (8,398)
合計	1,053,318 (23,599)	54,042 (4,314)	418,120 (7,755)	12,448 (1,443)	1,537,928 (37,111)

※( )は内数で平成18年度受入冊数

## オンライン・データベース「MAGAZINEPLUS」と「EBSCOhost」のアクセス件数



## 平成18年度 貸出回数ベスト5

本館	生田分館	神田分館
<b>1位 19回</b> 国際経済学 高増明、野口旭著 ナカニシヤ出版 1997 (K/333/Ta41)	<b>1位 35回</b> ハリー・ポッターと謎のプリンス 下 J.K.ローリング著 松岡佑子訳 静山社 2006 (J/933/R78)	<b>1位 26回</b> 債権総論・担保物権 内田眞著 東京大学出版会 1996 (民法3) (324/U14)
<b>2位 18回</b> 個の主体性尊重のマネジメント 馬場杉夫著 白桃書房 2005 (K/336.1/B12)	<b>2位 30回</b> 東京タワー オカンとボクと、時々、オトン リリー・フランキー著 扶桑社 2005 (J/913.6/R47)	<b>2位 23回</b> 憲法 第3版 長谷部恭男著 新世社 2004 (新法學ライブラリ2) (323/H35)
<b>3位 17回</b> 日本のビール産業 水川侑著 専修大学出版局 2002 (K/588/Mi95)	<b>3位 27回</b> ハリー・ポッターと謎のプリンス 上 J.K.ローリング著 松岡佑子訳 静山社 2006 (J/933/R78)	<b>3位 22回</b> 刑法講義総論 新版 大谷實著 成文堂 2004 (326.1/O94)
<b>4位 16回</b> 自分であるとはどんなことか 大庭健著 勁草書房 1997 (K/150/O11) 夢大陸アメリカ? 小野路功著 彩流社 1988 (K/253/O67)	<b>4位 26回</b> きょうの猫村さん 1 ほしよこて著 マガジンハウス 2005 (J/726/H92/1)	<b>4位 21回</b> 刑法講義各論 新版 大谷實著 成文堂 2002 (326.2/O94)
<b>5位 15回</b> 共生の文化人類学 渡部重行著 学陽書房 1995 (519/W45)	<b>5位 25回</b> 容疑者Xの献身 東野圭吾著 文藝春秋 2005 (J/913.6/H55)	<b>5位 19回</b> 租税憲法学 増田英敬著 成文堂 2002 (345/Ma66)



# 新しいデータベースを Check it out!

平成19年度に新しく導入された2つのデータベースを紹介します。

どちらのデータベースも、学内LANに接続されたパソコンで図書館ホームページ (<http://www.lib.senshu-u.ac.jp/>) の「外部データベース」から利用できます。

## eol ESPer

同時アクセス:12

### ■上場・非上場企業の有価証券報告書が閲覧可能

上場企業有価証券報告書(1984年～)・半期報告書(1997年～)、非上場企業有価証券報告書(1998年～)・半期報告書(2002年10月～)の他、企業基本情報、株価情報等を収録しています。

基本情報画面



### ■多彩な検索機能を使って、数社まとめてダウンロード

eol ESPerには、企業名や証券コードからの検索以外にも、業種や取引所からの検索、株式(株価)関連指標や財務関連指標からのスクリーニング検索などもできます。ウォッチリスト機能を利用すれば、まとめて原文データをダウンロードすることもできます。

ダウンロード(複数企業)の画面



## HeinOnline

同時アクセス:1

### ■アメリカの法律分野主要雑誌を創刊号からフルテキストで収録

アメリカで発行されている法分野における約800以上の主要雑誌の全文(PDFおよびOCRテキスト)を創刊号から収録しています。また、アメリカ政府の発行する官報「Federal Register」、アメリカの公式判例集である「U.S.Reports」、アメリカの国際条約を収録した「Treaties and Agreements Library」、伝統的な法律系書籍をフルテキストで提供する「Legal Classics Library」など、アメリカ法、国際法に関する様々なコンテンツも収録しています。



検索画面

# 図書館 インフォメーション

## 〈図書館カレンダー〉

7 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3★	4★	5★	6★	7★	8
9	10★	11★	12★	13★	14★	15
16	17★	18★	19★	20★	21	22
23	24	25	26	27	28	29

10 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6★	7★	8★	9★	10★	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20★	21★	22★	23★	24★	25
26	27★	28★	29★	30★	31★	

開館時間：無印 本館・生田分館 月～金 9:00～21:00 (土曜日は19:00)  
 神田分館・分室 月～土 9:00～22:00  
 ★印 本館・生田分館 月～金 10:00～19:00  
 神田分館 月～金 10:00～20:00  
 神田7号館分室 月～金 10:00～19:30  
 本館・神田分館 10:00～17:00 (生田分館・神田7号館分室は休み)

臨時開館：○印 臨時開館します。  
 7月8日(日)、15日(日)、22日(日)

休館日：  
 \*開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示で案内します。  
 \*法科大学院分館の開館情報は「専修大学図書館カレンダー(法科大学院分館)」をご覧ください。

## 〈お知らせ〉

### ■教員推薦図書の貸出停止

学部前期試験にともない学部学生対象教員推薦図書(生田分館・神田分館)の貸出を停止します。館内で利用してください。

停止期間：平成19年7月2日(月)～7月31日(火)

### ■卒業論文、ゼミナールの卒業レポートのための特別貸出

対象者：卒業年次の学部学生  
 取扱期間：平成19年9月21日(金)～12月22日(土)  
 冊数：10冊(通常貸出冊数)+5冊まで  
 貸出期間：1ヶ月

### ■夏期特別貸出

対象者：学部学生  
 取扱期間：平成19年7月12日(木)～9月7日(金)  
 冊数：10冊(通常貸出と同じ)まで  
 返却期限日：平成19年9月28日(金)

### ■オープンライブラリー開催

中学生、高校生、大学受験生のために、本学図書館を勉学の場として開放する「オープンライブラリー」を今年も開催します。

対象者：中学生・高校生・大学受験生  
 期間：平成19年7月25日(水)～9月7日(金)  
 場所：本館・生田分館・神田分館

※開館時間、休館日は図書館カレンダーを参照してください。

### ■図書館講習会

**本館**  
 生田キャンパス  
 「図書館情報検索講習会～個人レッスン編」  
 7月2日(月)～31日(火) / 9月21日(金)～10月5日(金) / 11月1日(木)～30日(金)  
 月～金:13:00～13:30  
 雑誌論文検索コース、新聞記事検索コース等を選べます。

**神田分館**  
 神田キャンパス  
 「知って得する図書館情報検索講習会～個人レッスン編」  
 7月2日(月)～31日(火) / 9月10日(月)～10月6日(土) / 11月1日(木)～30日(金)  
 月～金:13:00～13:30 19:30～20:00 土:14:30～15:00  
 判例検索編、文献検索編、総合コースを選べます。

※詳細については、開催館のカウンターに問い合わせてください。ホームページ、掲示でも案内します。

図書館では、利用者の個人情報を本人の同意なく第三者に提供する事はありません。

## 専修大学図書館だより 第62号

発行日：2007年7月1日  
 編集・発行：専修大学図書館(館長 大庭 健)  
 専修大学図書館 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 〒214-8580 Tel.044-911-1274  
 専修大学図書館ホームページ URL: <http://www.lib.senshu-u.ac.jp/>